

(16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業

【プロセス評価】

※具体的な意見の凡例(○: 良い意見/●: 問題の指摘等に関する意見/◇: その他の意見)

■意見収集

1. 本施策について、高齢者、障がい者、子育て世代を含む市民意見を聞く機会が設けられていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	設ける必要を感じない	評価できない	計
1	10	0	2	0	0	13
具体的な意見	<p>○アンケートやヒアリングを実施し、様々な人の意見を聞く努力が感じられる。</p> <p>○視覚障がい者をはじめ、いろいろな人に意見を聞いていることを感じる。</p> <p>○改良の努力は評価する。</p> <p>●ヒアリングに外国人が必要ではないか。</p> <p>●「障がい者」に関して、「視覚障がい者⇒点字・声の広報」と一般的にわかりやすい障がいのある方を選んでヒアリング等しているのではないか。</p> <p>●知的障がい者や漢字の苦手な方々に対して、漢字への「ルビ」ふり等の検討がされたのかどうかといったことが気になった。</p> <p>●WEB上でのアンケートフォームによるアンケートは、可能な人とそうでない人で、意見にバイアスがかかってしまうように感じる。</p>					

■意見反映

2. 本施策について、高齢者、障がい者、子育て世代を含む市民意見が反映されていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	反映する必要を感じない	評価できない	計
0	11	2	0	0	0	13
具体的な意見	<p>○十分とは言えないが、努力はされている。多様な情報発信を今後もめざしていただきたい。</p> <p>○WEB アクセシビリティ配慮の継続的なチェック・改善やアンケート/ヒアリング調査結果を受けての改善は実施されていると感じる。</p> <p>○見やすい広報を分析し、デザインの統一に結びついた事は、大変素晴らしいと思います。</p> <p>●委員から不十分な面の指摘があったので、一層の改善を期待する。</p> <p>●わかりやすい障がいと解決方法が中心となっているのではないか。「点字や声の広報」の作成(結果)は、要望となる意見(原因)があったからだと思う。「意見がないからこのまま」ではなく、「意見を出しづらい方への対応」を結果として、「原因は何なのか・誰なのか」といったことから意見集約し施策に反映することも必要ではないか。</p>					

(16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業

■連携

3. 本施策について、福祉のまちづくり関係者を含む様々な関係者が連携できていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	連携する必要を感じない	評価できない	計
1	9	3	0	0	0	13
<p>具体的な意見</p> <p>○広報紙やホームページは一定の条件をクリアしないと掲載されないものだと思う。こうした条件を浸透させることで関係各部署もバリアフリーに関する取り組みもレベルアップしていくと考えられ、効果は大きいと感じる。</p> <p>○視覚障がい者等のある方への対応として、広聴課と連携して窓口を代表電話に一元化する取組は評価できると思う。</p> <p>●「目にやさしい印刷物のコツ」の周知から一歩進めて、各部署からの印刷物がそうになっているかを確認すべきではないか。</p> <p>●もっと連携によってそれぞれが持っている情報やノウハウを共有できるのではないか。</p>						

■広報・PR

4. 本施策について、市民に広報・PRされていると感じますか。						
十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	広報・PRする必要を感じない	評価できない	計
0	7	3	1	1	1	13
<p>具体的な意見</p> <p>○広報紙について、さまざまな工夫がされている事は伝わる。</p> <p>●会議での発言であったと記憶しているが、「<u>広報紙の配布方法の変更について周知が行き届いていない側面があるかもしれない</u>」という視点での対応をお願いします。</p> <p>●今後は更に多言語化の要求等も加わると思う。市が伝えたい事と市民が知りたい事を、どう提供すれば伝わるのか。工夫していただきたい。</p> <p>●努力はされていると思うが、あまり知られていないのが残念。</p> <p>◇感じるが、民間団体・企業の情報発信のバリアフリー化の後押しになるくらいの方がいいと思う。</p> <p>◇WEB アクセシビリティの試験結果は公表しているが、情報発信のBF化はあえて公表するものではなく、当然のこととして粛々と進めていけばよいものとする。</p>						

(16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業

■工夫・改善

5. 過去の成果や既存の取組等を踏まえ、本施策について、工夫・改善されていると感じますか。

十分感じる	感じる	あまり感じない	全く感じない	工夫・改善する必要を感じない	評価できない	計
0	11	1	0	0	1	13

具体的な意見	<p>○市政モニターアンケート等で状況を把握する努力をしていることは評価できる。</p> <p>○情報を取得する手段の変化に対応して、広報紙のリニューアルや住民の数に応じた言語への切り替え等、多くの方々に情報が伝わりやすくなるホームページ作成をめざした細かな情報収集がなされていると思う。</p> <p>○聴こえない方への様々な配慮がされている点は工夫されていると思う。</p> <p>○以前よりは工夫・改善されていると思う。熱意は感じた。</p> <p>●日本もさまざまな国の外国人の方々が生活しており、アクセス数が少ないという理由で削除する言語があるのは理解しにくい。</p> <p>◇コロナ禍の影響で、オンライン会議等拡大していくと思われるが、ユーチューブ等、様々なレベルで情報発信をしていって欲しい。</p>
--------	--

■実績評価

6. 現時点での取組の成果（実績）は、満足できる内容ですか。

満足できる	どちらかという満足できる	成果をあまり感じず、どちらかという不満である	成果を感じず不満である	評価できない	計
0	11	1	1	0	13

具体的な意見	<p>●環境バリアばかり強調されているように感じる。抵抗はないが、サービス面でも質向上を望む。</p> <p>●努力されているのにあまり成果を感じられないのがとても残念。市民はあまり知られていない。</p> <p>●委員からの指摘を加味して、さらなる向上を目指していただきたい。</p>
--------	---

(16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業

■効果評価

7. 取組の成果は市民から満足されていると感じますか。						
十分 感じる	感じる	あまり 感じない	感じない	まだ目に見 える成果が ない	評価でき ない	計
0	7	4	0	1	1	13
具体的な意見	<p>○市広報は大変見やすく、読みやすいと思う。</p> <p>○前向きな取組は評価されているのではないか。</p> <p>●アクセシビリティ等に関する取り組みへの一定の評価はあると思うが、HP 自体は使いづらい。</p>					

(16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業

9. 本施策に対する改善のアイデア・提言など

※課題から改善が必要な点

- ・点字の広報は内容が要約されているため、情報が十分ではないと聞いている。そうであれば、もう少し情報量を増やし、晴眼者との情報格差を少なくする必要があると思う。
- ・日本語への理解が難しい外国の方は多い。アクセスが少ないイコール必要がないと考えるよりは、いざ必要になった時に翻訳があつて助かったと思ってもらえることが大事だと思う。
- ・広報の紙面に目次がほしい。目次があれば読みたい部分を探しやすい。広報の実用的な価値が上がると思う。いろいろな障がいの人にもより対応しやすくなる。大幅リニューアルの時に検討してほしい。
- ・もっといろいろなところと連携をとって、たくさんの場所からたくさんの方法で情報発信してもらいたい。

※さらに良くするために行うべき点

- ・今後デジタル化が進む中で、新しいツール等も利用していける準備を整えてほしい。
- ・市の事業等の情報発信では、字幕付の動画等、発信手段が広がっていると思う。積極的に取入れていったらと思う。
- ・様々な御意見がある中で大変だと思うが、利用しづらいという意見のある方からは、具体的にどのような点が使いづらいのかなど、丁寧なヒアリングをする機会をもつてはどうか。

※さらに良くするために行うべき点

- ・WEB を重視した情報発信について、ICT を使えない人も多い等の問題を指摘する声が他の自治体の会議でも多くあがるようになってきた。異なる媒体による同等の情報提供を意識する必要があり、それを継続的に実施することが求められていると感じる。